

6月の活動報告

- ◇会議
 - 自主防災役員会議 2日(日)
 - 自治会役員会議 9日(日)
 - 第2回安食台小学校避難所開設運営委員会 16日(日)
 - 自主防災会ブロック長会議 29日(土)
- ◇行事
 - ★ふれあいの場 15日(土)

◇会員数 301世帯 (前月比1世帯増)

8月の予定

- ◇会議
 - 自主防災役員会議 4日(日)
 - 自治会役員会議 11日(日)
 - 第4回安食台小学校避難所開設運営委員会 18日(日)
- ◇行事
 - ★ふれあいの場(3丁目集会所)・健康づくり講座 17日(土)
 - つながり文化祭 24日(土) 25日(日)
- ◇回覧 18日(日)

「さかえ市民みゅーじかるの会」をご存じの方も多くいらっしゃるかと思います。ミュージカルが好きで、一緒に舞台を作りたい! 町を盛り上げたい! という熱い思いを持った栄町に住む人たちを中心に活動している演劇集団です。今年第10回記念公演として、ミュージカル「**印旛沼龍伝説 -栄町の伝説-**」をふれあいプラザで公演します。舞台はもちろん本格的! 栄町としても、3丁目自治会としても応援しています。もしまだご覧になったことがない方は、是非この機会にご観覧されてみてはいかがでしょうか。チケットは、ふれあいプラザでご購入できます。詳しくは、ふれあいプラザのホームページや各所掲示板をご覧ください。

～あらすじ～
印旛沼の主である優しい少年龍と村人たちの穏やかで平和な交流の日々、そして迫り来る自然破壊、それに対する龍王戒めの干ばつ! 天の掟と苦しむ村人達との間で葛藤する少年龍。果たして彼の下した決断は…?!



自主防災会活動 (3)

～安否確認訓練～

安否確認訓練とは?
去る5月26日に安否確認訓練を行いました。結果については既回覧でお伝えしていますが、そもそも安否確認とはなんですか? それは、地震や台風等の大きな災害に見舞われた時に「人が生存しているのか、人がどこにいてどうしているのか」を確認することです。人とは、家族や友人、そしてご近所の方を指し、その人達の安全を確認することが目的です。我が3丁目では『黄色のつながりフラッグ』の掲出で確認しています。災害時にお向かいのお宅に掲出がなければ、声をかけて確認しましょう。ご家族の皆さんが、これを理解してくださるようお願いいたします。

「遠くの親類より近くの他人です」

参考: 「つながりフラッグ」は以下の状況の時、家族の安全を確認し問題がなければ掲出します。
①地震5弱以上の地震発生時
②行政より警戒レベル4 (全員避難)の避難指示が発令されたとき



7月20日(土)は「子供お楽しみ会」です。

楽しいゲームやおいしい食べ物などを用意してお待ちしています。小学生以下のお子さん・保護者の皆さん、お誘いあわせのうえ是非お越しください。
(10:00～・集会所・参加費無料)

お知らせ

なお、同日に予定されていた「ふれあいの場」は中止とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いたします。



「第2回つながり文化祭」

出展者・出演者募集します!

昨年度から開催しております「つながり文化祭」を今年も下記の通り開催いたします。趣味、特技をお持ちの多くの方の応募をお願いします。子供達も是非応募お待ちしております。下記の参加申込書に必要事項を記入して7月27日(土)までに集会所の郵便箱に投函をお願いします。

開催日時 8月24日(土)～25日(日) 10～15時

開催場所 自治会集会所

募集内容 出展者: 絵画、写真、切り絵、陶器、手芸品、野菜販売等

出演者: 楽器演奏、民謡、舞踊・ダンス等

キリトリセン

安食台3丁目自治会行き

(7月27日までに集会所郵便箱投函)

つながり文化祭参加申込書

第2回つながり文化祭に参加の申込みをします。

申込者 (代表者)	
申込者街区	3丁目 - -
参加内容	(出展、出演の具体的内容をご記入ください)

健康づくり講座

のお誘い

8月17日(土)の「ふれあいの場」(3丁目集会所)において、14:00から栄町健康づくり推進員の方より、健康づくりについての講義をしていただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

熱中症を予防しましょう!

～栄町健康づくり推進員より～

7月に入り、ますます暑さも本格的になってきました。熱中症予防のために、意識的に以下の4点を心がけてください。

- ① 水分をこまめに摂る
- ② 直射日光を避ける (帽子、日傘など)
- ③ 部屋の温度を測る (28℃が目安)
- ④ エアコンや扇風機を活用



自治会こぼれ話 (3) ～ 栄町消防操法大会～

6月22日(土)の午前、ご案内をいただき、ふれあいプラザさかえ前の駐車場において栄町消防操法大会に列席してきました。この大会は、町内各地区の消防団が、ポンプ車からの放水の、または小型ポンプを使った放水の一連の操作手順を演技し、日頃の訓練の成果を競うものです。

ところで、消防団は、消防本部や消防署と同様、それぞれの市町村に設置され、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

消防操法大会では、大人のチームによる演技の後、少年消防団の軽可搬ポンプ操作が披露され、小・中学生の男女が、消防署員の援助を受けながらホースを伸ばし、ノズルを抱えて水圧に耐え、懸命な演技を繰り広げました。来賓のテントの中に団員のご家族がいたようで、ひととき声援が大きくなり、演技終了後には大きな拍手が起こりました。

少年消防団の団員は、小さなころからこのような体験をとおし、消防・防災活動の知識や技術、消防団の精神等を自然と身に付けていくことでしょう。そして、演技中は頼りなさそうに見えていた子供たちでしたが、そのうちの何人かはいずれ消防団員となって、災害が発生した非常時に住民を助けしてくれるかもしれないと考えたとき、「頑張れ〜!」とエールを送りたくりました。
(小寺記)